

タブロイド版

自治体や農村地域で活用進む 再生可能エネルギー

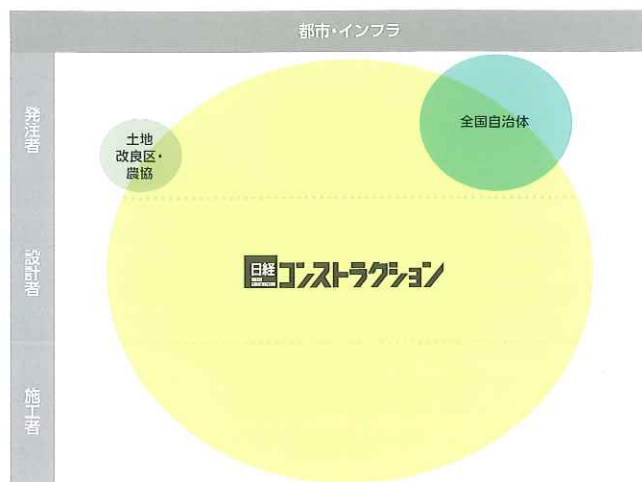
2012年7月の固定価格買い取り制度の開始を機に、利用が広がり始めた再生可能エネルギー。自治体が建物や公園、ダムなどの既存施設に導入して使用電力を賄うだけでなく、官民連携によって、ビジネスとして再生可能エネルギーに取り組む事例も増えています。

また、再生可能エネルギーは、多様なエネルギー源が豊富に存在する農村部でも脚光を浴びています。農業水利施設を利用する小水力発電、休耕地での太陽光発電などへの関心が高まってきました。

本企画では、自治体や建設会社、建設コンサルタント会社が関わっている再生可能エネルギーの最新事例、国や自治体による導入の支援策など、最新のトレンドをお伝えします。

再生可能エネルギーの導入はまだ始まったばかりです。特に、小規模な自治体や土地改良区には技術職員が少なく、再生可能エネルギーに関心を持っていても、技術や製品に関する情報が不足しているのが実情です。この機会に、本特別編集版への広告掲載をぜひご検討ください。よろしくお願いします。

中央官庁・地方自治体、官民連携の主役となる建設コンサルタント会社、建設会社など日経コンストラクションの読者に加え、自治体首長や農業団体(土地改良区、農協)にもリーチします。



2013
テーマ別 特別編集版 タブロイド版
6月

■発行部数:約28,000部

① 日経コンストラクション 6/24号

読者全数へ同梱

24,838部

(官公庁、建設コンサルタント、建設会社等)

② 全国の自治体首長への別送

約1,800部

(自治体の発注者)

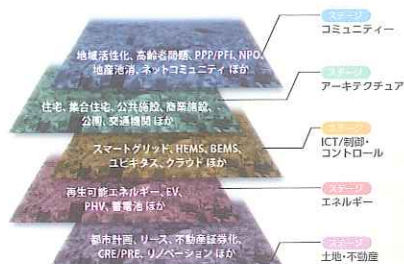
③ 全国の土地改良区、農協への別送

約1,500部

(農地・用排水路の整備、管理)

「プロジェクト エコー・シティ」とは

「エコ・シティ(ECHO CITY=Eco Conscious and Human Oriented City)」とは、「環境と人が響き合う街」という意味の造語です。街を「土地・不動産」「エネルギー」「ICT(情報技術)・制御」「建築」「コミュニティ」「インフラ」など各ステージの積み重ねとして捉え直し、ステージを貫く「つながり」を訴求することによって姿を現す街が「エコ・シティ」です。そして、環境に最大限配慮しながら、そこで生活する人々や働く人々に幸せをもたらす新しい街づくりを目指すアクションが「プロジェクト エコー・シティ」です。日経BP社の建設系メディアは共同で、このアクションを推進しています。



編集予定

※内容は予告なく変更になる場合がございます。

自治体や農村地域で活用進む再生可能エネルギー

①インタビュー

「再生可能エネルギーのポテンシャルと導入に向けた課題」

②地方自治体の先進事例

自治体が主導して、公共施設や公園、ダムなどを利用する再生可能エネルギーの創出事業が始まっている。メガソーラーや小水力発電、風力発電など、各発電方式の先進的な取り組みを紹介し、事業の仕組みや導入のメリットなどを解説する

③農村地域における再生エネ創出事例と支援策

農業用水路を利用した小水力発電、耕作放棄地での太陽光発電、農業廃棄物を使うバイオマス発電など、農村ならではの資源を生かした再生可能エネルギーの創出事例を紹介。併せて、国などによる導入支援策も取り上げる

④建設産業で活発化する事業化の動き

建設会社や建設コンサルタント会社が自ら発電事業者となる動きのほか、官民連携による新たなビジネスモデルなど、再生可能エネルギーの新潮流を解説。さらに、発電方式ごとの技術のトレンドなども紹介する

広告対象

- 太陽光発電システム／パワーコンディショナや水力発電装置など、再生可能エネルギーを活用した発電機器および関連資機材
- 自治体などへ再生可能エネルギー利用を提案する建設コンサルタント会社、建設会社、発電事業者、商社、開発会社

読者の声

●今回の特別編集版の記事は、大変興味深く勉強になりました。これまでの大規模な発電所による電力の供給から、今後は小規模発電を複数箇所で行い電力を賄う形態に移行していくのも重要なのではないかと思います。岩手県は県土に占める森林面積の割合が高いのですが、森林の手入れがゆき届かないという問題があります。間伐材を利用したバイオマス発電等を導入できれば、地域で必要なエネルギーを再生可能エネルギーで賄えたとともに、山の荒廃の防止、新たな雇用の創出による地域経済の活性化も図れると考えています。

読者の声

●なかなかメディアの報道などを見ているだけでは、どの程度の広がりを見せているのかが分からなかったで、今回の特別編集版はよかった。不定期でも構わないので、継続的に情報発信してもらいたい。

読者の声

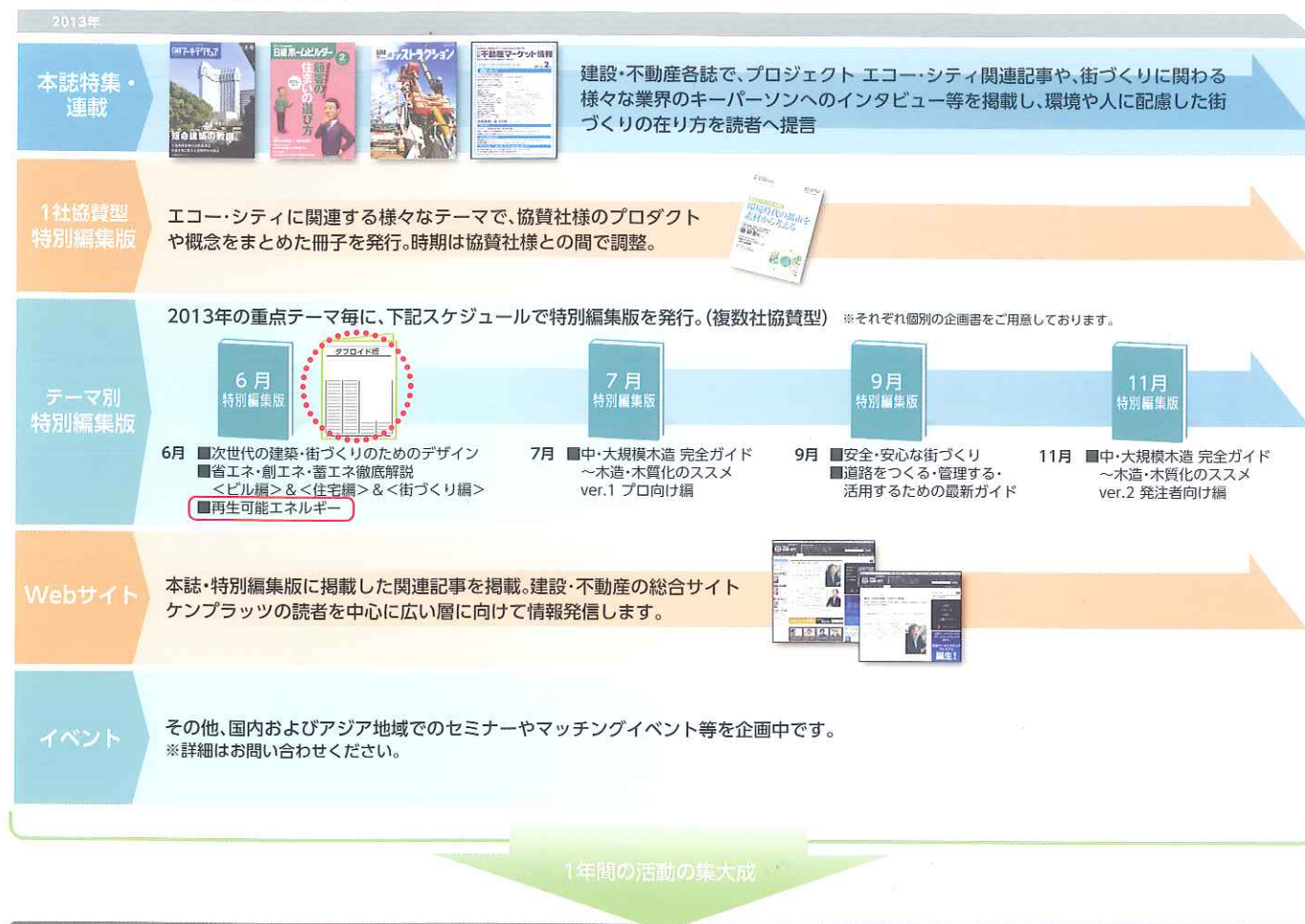
●現在、小水力発電について、事業化に向け可能性調査を担当している。今後の小規模な発電水車の開発に期待している。

読者の声

●地方の過疎・中山間地には耕作放棄地が多くなってしまっています。このような耕作放棄地を活用し、例えば地元建設業者が太陽光発電を行うこともできないかと考えております。このような事例や、制度上の仕組みを紹介していただければ幸いです。



プロジェクト全体スケジュール



プロジェクト エコ・シティ 2013 勉強会・総集編

リアルにつながるビジネスマッチングを実現

議論するテーマは、協賛社様のリクエストを受けて参加者間で協議の上、決定します。

貴社ビジネスにマッチしたテーマを設定し、官公庁、デベロッパー、設計事務所、建設会社、メーカー、大学など、産学官のキーパーソンとリアルに“つながる”場を提供いたします。

幅広いターゲットへの情報発信

産学官のキーパーソンと共に掲載した内容は、日経BP社の建設・不動産各誌をはじめ、経営者層をカバーする日経ビジネスの一部読者、全国自治体首長に宛てて、情報発信します。



媒体概要

●発行時期:2013年6月 ●発行部数:28,000部 ●体裁:タブロイド判、4～8ページ(予定)

スケジュール

●日経コンストラクション 6月24日号 同梱 (6月20日売)

■申込締切日 5月20日(月)

■タイアップ取材締切日 5月 7日(火)

■オフラインデータ締切日 6月 5日(水)

■オンラインデータ締切日 6月 7日(金)

料金(税別) & 広告サイズ

A:純広告 ※本企画は、タブロイド版で実施します。(サイズ:天地406×左右273mm)

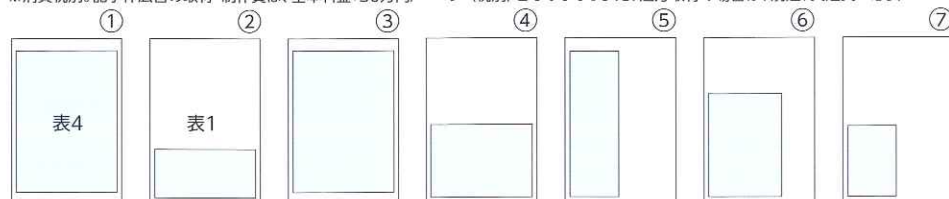
①表4 全ページ(4色) 1,500,000円 天地350×左右250mm ⑤たて1/2ページ(4色) 650,000円 天地360×左右120mm

②表1内 1/3ページ(4色) 700,000円 天地120×左右250mm ⑥変型1/2ページ(4色) 650,000円 天地255×左右180mm

③全ページ(4色) 1,200,000円 天地360×左右250mm ※日経コンストラクション1ページ普通版と同サイズ

④よこ1/2ページ(4色) 650,000円 天地180×左右250mm ⑦1/4ページ(白黒) 250,000円 天地175×左右120mm

※消費税別。記事体広告の取材・制作費は、基本料金:30万円/ページ(税別)となります。また、遠方取材の場合は、別途、交通費が必要となります。



B:タイアップ

日経BP社 建設局プロデューサーによる

「トップインタビュー」または「製品フォーカスインタビュー」

●タイアップ4色1ページ ●Webサイトへの2次掲載(2013年7月～2014年3月)

料金: **280万円** (定価:590万円のところ)

※消費税別。記事体広告の取材・制作費は、上記料金に含まれます。また、遠方取材の場合は、別途、交通費が必要となります。

参加特典

「プロジェクト エコ・シティ」勉強会(2013年12月)への参加

本プロジェクトに賛同いただいた企業、官公庁・自治体、各業界のキーパーソンを招いての勉強会・懇親会を開催。第一線で活躍している方々と密度の濃い「つながり」の場をご提供します。



出稿特典

「企業認知度・ホームページ診断調査」

ご出稿企業様のホームページを個別調査します。調査項目の詳細データに加え、読者の自由意見をフィードバックいたします。

※詳細は別紙企画書をご覧ください。

お問い合わせ

日経BP社

建設局広告部

TEL. 03-6811-8034

E-mail: k-ad@nikkeibp.co.jp